

令和三年度 公開講座スケジュール

	テーマ	講演者	講演日時・場所
第1回	「海の古墳」としての新原・奴山古墳群	魚津 知 克	令和3年7月22日(木・祝)13時30分 カメラホール 大研修室
第2回	沖ノ島の奈良三彩	高橋 照 彦	令和3年8月21日(土)13時30分 海の道むなかた館 講義室
第3回	沖ノ島の鏡	岩本 崇	令和3年9月18日(土)13時30分 海の道むなかた館 講義室
第4回	沖ノ島の馬具を復原する	桃崎 祐 輔	令和3年10月23日(土)13時30分 海の道むなかた館 講義室
第5回	沖ノ島の玉、滑石製品を中心に	清喜 裕 二	令和3年11月20日(土)13時30分 海の道むなかた館 講義室
第6回	沖ノ島の紡織具	東村 純 子	令和3年12月18日(土)13時30分 海の道むなかた館 講義室
第7回	宗像・沖ノ島の武器と武装	齊藤 大 輔	令和4年1月15日(土)13時30分 海の道むなかた館 講義室
第8回	特集：沖ノ島のガラス	中井 泉 福嶋 真貴子 四角 隆 二 阿部 善 也 村串 まどか 加藤 千里	令和4年2月23日(水・祝) 13時30分 アクロス福岡 円形ホール

会 場：海の道むなかた館 講義室（定員 40 名） 福岡県宗像市深田 588 番地
カメラホール 大研修室（定員 40 名） 福岡県福津市津屋崎 1 丁目 7-2
アクロス福岡 円形ホール（定員 50 名） 福岡県福岡市中央区天神 1 丁目 1-1

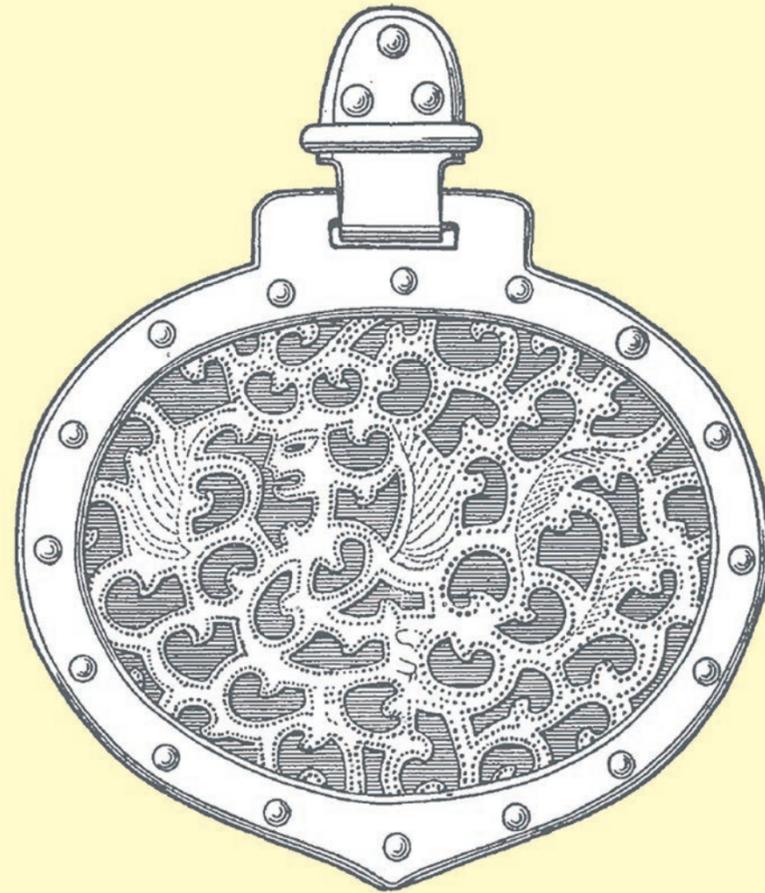
申込方法：下記HPから専用フォームにて要事前申込。受講費は無料です。
開催日の7日前までにお申し込みください。定員を超えた場合は抽選になります。
当選者には開講日の3日前までにメールでお知らせします。
(なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては中止する場合があります。ご了承ください。)
全講座は、講演の1ヶ月後に下記ウェブサイトで動画配信します。
<https://www.okinoshima-heritage.jp/>



問 合 先：「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会
(事務局：福岡県九州国立博物館・世界遺産室)
〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7
TEL：092-643-3162 FAX：092-643-3163
E-mail：sekaiisan@pref.fukuoka.lg.jp



主催：「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会



図面は、宗像神社復興期成会編（1958）『沖ノ島』所収の「鳥人唐草文透心葉形杏葉」（7号遺跡）。

令和三年度 世界遺産 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

公開講座

令和三年度は「沖ノ島の古代祭祀と人々の関わり」をテーマに行います。

沖ノ島へ続く、海を眺める台地に築かれた新原・奴山古墳群。そこに眠る古代豪族宗像氏は、沖ノ島の祭祀を担いました。四世紀から九世紀にわたり行われた沖ノ島での祭祀で神々へ捧げられた品々は、国際的な交流の物証であるとともに、当時の思想や価値観を、現在の私たちに伝えてくれます。

本講座では、沖ノ島に捧げられた品々の中でも特徴的な品をとりあげ、その特徴と意義について各分野を代表する専門家の先生方から解説いただきます。



海を望む台地上に立地する新原・奴山古墳群



奈良三彩小壺



三角縁神獸鏡



金銅製歩揺付雲珠



滑石製子持勾玉



金銅製高機



鉄剣、鉄刀、鉄地銀張鏢

この画像は左右がありません。

第1回 「『海の古墳』としての新原・奴山古墳群」

魚津 知克 (うおづ ともかつ) (福井県教育庁埋蔵文化財調査センター)

講演日：令和3年7月22日(木・祝) **カメラアホール**

第2回 「沖ノ島の奈良三彩」

高橋 照彦 (たかはし てるひこ) (大阪大学大学院文学研究科教授)

講演日：令和3年8月21日(土) **海の道むなかた館**

第3回 「沖ノ島の鏡」

岩本 崇 (いわた たかし) (島根大学学術研究院人文社会科学系・准教授)

講演日：令和3年9月18日(土) **海の道むなかた館**

第4回 「沖ノ島の馬具を復原する」

桃崎 祐輔 (ももさき ゆうすけ) (福岡大学人文学部教授)

講演日：令和3年10月23日(土) **海の道むなかた館**

第5回 「沖ノ島の玉、滑石製品を中心に」

清喜 裕二 (せいき ゆうじ) (宮内庁書陵部陵墓課陵墓調査室)

講演日：令和3年11月20日(土) **海の道むなかた館**

第6回 「沖ノ島の紡織具」

東村 純子 (ひがしむら じゅんこ) (福井大学国際地域学部准教授)

講演日：令和3年12月18日(土) **海の道むなかた館**

第7回 「宗像・沖ノ島の武器と武装」

齊藤 大輔 (さいとう だいすけ) (福岡大学人文科学研究科)

講演日：令和4年1月15日(土) **海の道むなかた館**

第8回 「特集：沖ノ島のガラス」

「沖ノ島出土ガラスは何を語るか」

中井 泉 (なかい いずみ) (東京理科大学名誉教授)

「古代沖ノ島祭祀とガラス製品」

福嶋 真貴子 (ふくしま まきこ) (宗像大社文化局学芸員)

「サーサーン朝におけるガラス容器生産と流通」

四角 隆二 (しかく りゅうじ) (岡山市立オリエント美術館主任学芸員)

「沖ノ島8号遺跡出土のカットガラス碗片と切子玉はどこで作られたのか—非破壊蛍光X線分析から起源に迫る—」

阿部 善也 (あべ よしなり) (東京電機大学工学研究科物質工学専攻助教)

「沖ノ島のガラス製玉類を探る」

村串 まどか (むらくし まどか) (筑波大学人文社会学部振特別研究員)

加藤 千里 (かとう ちさと)

講演日：令和4年2月23日(水・祝)

アクロス福岡 円形ホール

各回とも冒頭に遺跡や遺物の見どころを解説またはミニ動画を放映します。また全講座は、1ヶ月後に本遺産群の公式ウェブサイトで動画配信します。

※出土品はすべて宗像大社所蔵



ガラス製玉類



カットガラス碗片